

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 20 日

事務事業名		狂犬病予防事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	050803000241
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	030301
		0508 生活環境の保全						課長名	生活環境課
政策体系		政策名	05 快適な暮らしのまちづくり					グループ	環境公害対策G
		施策名	08 生活環境の保全					担当者名	
		手段名	03 ③公害防止活動の推進						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
法令根拠						単年度繰返し (昭和25 年度~)			
狂犬病予防法、桜川市狂犬病予防法施行規則						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
狂犬病予防法に基づく狂犬病予防集合注射の実施。 犬の登録 (生涯1回) 予防注射 (年1回)	犬の登録・予防注射の通知・鑑札交付・注射済票の交付・死亡届及び所在地変更等の管理事務。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
狂犬病予防集合注射の通知、実施。	集合注射の実施案内 (チラシ)	枚	12,645.00	2,192.00	2,192.00	2,192.00	2,192.00
	新年度分の予防注射接種の通知件数	枚	2,679.00	2,192.00	2,192.00	2,192.00	2,192.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
桜川市に登録された犬	登録件数	件	2,679.00	2,519.00	2,600.00	2,600.00	2,600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
狂犬病予防注射の接種率を向上させる。狂犬病の発生及び蔓延を防止する。	狂犬病予防注射の接種頭数	頭	1,704.00	1,588.00	1,588.00	1,588.00	1,588.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	42	41	36
	事業費計 (A)	千円	42	41	36	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	41	11 需用費	36
		合計	41	合計

事務事業名	狂犬病予防事業	事務事業No.	50803000241	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和25年の狂犬病予防法の制定に基づき予防注射が義務付けられ、狂犬病は1957年以来日本での発症がないことから危機感が低く、近年は予防注射の接種率が低下している現状にあるが、隣国で狂犬病が発症しているため、さらに予防注射の接種を啓発している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 狂犬病予防法に基づき予防注射が義務付けられているところではあるが、飼い主の方から「日本には狂犬病はないので混合ワクチンなどを受けていれば狂犬病の注射は打たなくても良いのではないか」や「室内犬で家から出ないので狂犬病の注射はうけていない」などの声が聞かれる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 狂犬病予防法に基づいて実施している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 狂犬病予防法の規定により実施するもので、登録・予防接種・適正な飼養管理を行う。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 未登録、予防接種の未接種を減らすための継続的な啓発活動の実施。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法律の規定によるものであり、人間にも重大な危機をもたらす狂犬病の発生を抑制するためには廃止できない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 畜犬登録事業 第9支部狂犬病予防対策協議会参画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 畜犬登録事業また第9支部の協議会で連携して実施している。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 登録及び予防接種に必要な鑑札・注射済票の費用であるため削減はできない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 注射代金・手数料の個人負担がある
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	集合注射、回覧、啓発活動により接種率の向上を図っているが、減少傾向にある。日本では長年狂犬病が発症していないこともあり、市民の意識が薄れていること、実際に登録されている犬数も少なくなってきたことが原因であると考え。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後は、回覧、啓発活動の方法を変えて、焦点を絞り、意識向上をはかる必要があると考える。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			X	低下			X
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			X																				
	低下			X																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>